

めよめよ！ー1世帯 一日
100gのごみ減量

10月は「3R推進月間」です

はじめてめよめよ！今日からできるエコライフ

かけがえのない私たちの地球。私たちが築いてきた便利な社会は、その代償として、地球に大きな負担をかけてきました。今、この地球が助けを求めています。だれもが暮らしやすい環境を次の世代に残していくことは、私たちの責任であり義務です。普段、何気なくおこなっている買い物の中にも、環境のために実践できる様々なことがあります。皆さん、「地球にやさしい社会」をつくる一歩を踏み出してみましよう。

◆コマメに買い物袋を持ち歩きましょう。

マイバッグを持参して、ごみ減量のためレジ袋を断りましょう。

◆包装はできるだけ少ないものを選びましょう。

包装の少ない商品、過剰包装を断ることでごみを減らせます。



◆容器は再使用できるものを選びましょう。

◆品物は長く使えるものを選びましょう。

◆再生品、資源やエネルギーを浪費しないものを選びましょう。

Reduce (リデュース)

⇒物を大切に使う。ごみを減らそう。

Reuse (リユース)

⇒繰り返し使う。

Recycle (リサイクル)

⇒再び資源として利用しよう。



環境マークの一例

エコマーク	グリーンマーク	省エネラベル
環境に配慮した製品につけられています。	原料に古紙を使用した製品につけられています。	省エネ基準を達成している製品につけられています。

◆問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当
☎6578 有線⑥7784

～ごみの野外焼却(野焼き)は法律で禁止されています。ごみは適正に処理してください～

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

真っ赤な彼岸花が咲き誇る畦道に豊かに稔る稲穂。米価が安いとはいえ農家にとっては、やっぱりうれしい収穫の秋。若

嫁さんや娘さんも田圃に姿をみせ、日焼けをしないようにしっかりと肌を防御して稲刈り。息子は軽トラで刈運び。モンペ姿のおばさんも。家族で農作業に精を出す姿を微笑ましく思います。

9月、福田首相が突然の辞任表明。原油価格の高騰などで暮らしや営業が大変になっているなかで「またもや突然政権を投げ出すなんて無責任」という声があがりました。3年間で首相が4人も入れ替わるのは異例中の異例です。振り返ると3年前の衆議院議員選挙(平成17年9月11日投票)は、郵政民営化が大きな争点でした。当時の小泉首相は、郵政事業に税金が付き込まれていないにもかかわらず、「郵政民営化」＝「公務員の削減」＝「経費の削減」かのよ

うに描き「公務員を減らすことに反対の人はいないでしょう」と声高に叫び与党が大勝しました。結果は、地方の郵便局の廃止や機能縮小に追い込まれ、地方を中心にサービスが低下しました。当時、郵政民営化に反対する議員には「刺客」が送り込まれ、岐阜1区の野田聖子氏と「刺客」の佐藤さゆり氏の「対決」が注目されたものでした。その野田議員が8月の内閣改造では入閣。当時では考えられなかったことです。「あの騒ぎはなんだったのか」と思います。当時、持てはやされた構造改革路線によって格差社会がひろがり貧困を深刻化させています。劇場型の政治ではなく国民生活に目を向けた政治が求められています。何故暮らしが大変になっているのか、どうすれば暮らしが改善されるのか、しっかりと検証することが必要です。政治の本身よりも視聴率重視のワイドショー化した報道に惑わされることなく、冷静に主権者として判断することが大切だと思います。田圃でひかる額の汗のように尊く、まじめに働くことが報われる社会をつくるために力を合わせましよう。